

第8回 教育研究評議会議事要録

日時 平成16年12月14日(火)10:00~11:50
場所 事務局会議室(5階)
出席者 相良学長,川口理事(総務担当),松永理事(教育担当),佐藤理事(財務担当),
倉本理事(医療担当),根小田人文学部長,刈谷教育学部長,長沼理学部長,
円山医学部長,金川農学部長,深見黒潮圏海洋科学研究科長,田村センター等連
合教授会議長(地域連携推進本部長),加藤附属図書館長,横谷評価本部長,
吉倉教育推進本部長,辻田共通教育主管,小澤評議員,池田評議員,上田評議員,
藤田評議員,川村評議員,田口評議員,橋本評議員,篠評議員

〔配付資料〕

- 1 平成16年度における教員に係る人員管理について(案)
- 2-1 組織評価の実施要項(案)
- 2-2 教員の総合的活動自己評価・組織評価の各部署実施スケジュール(案)

開会に当たり,学長から,坂本世津夫氏(学長アドバイザー:愛媛大学客員助教授)の略歴等の紹介が行われた後,同氏より「地域に根ざした大学のあり方・役割」をテーマに講演が行われた。(講演終了後,坂本氏は退席)

議事に先立ち,前回議事要録(案)の確認が行われ,異議なく承認された。

〔審議事項〕

1. 国立大学法人高知大学の教員に係る人員管理の運用について
総務担当理事から,資料1に基づき説明の後,人事課長から補足説明が行われた。大学管理人員比率の根拠,医学部における人員管理の取扱い,他大学の状況等に関し質疑応答の後,審議の結果,原案どおり承認された。
なお,質疑のあった大学管理人員の状況等については,他大学の状況を調査し人事委員会で確認することとされた。
また,教育学部については,教員養成機能を維持するために,教育職員免許法等に規定する単位の修得に必要な最低限の教員を確保すべきことを踏まえ,人員管理の機能的な運用について併せて人事委員会で確認することとされた。
2. 組織評価の実施要項(案)について
総務担当理事から,資料2-1,2-2に基づき説明の後,中期目標・計画の年度評価と組織評価との関連,教員の自己評価における活動比率等に関し質疑応答の後,審議の結果,原案どおり承認された。
なお,学長から,評価本部長に対し「教員の自己評価における活動比率のミニマムリクエスト」,「大学運営活動の具体例」を明示していただきたい旨の要請が行われた。

〔報告事項〕

1. 平成13年度高知大学追加合格者判定過誤について
学長から,高知大学教育学部追加合格者判定過誤に関する調査対策委員会報告に基づき,第18回役員会(平成16年12月13日開催)決定による公表文書について報告が行われ,質疑応答の後,一部表記・字句修正を行うこととされた。
また,関係者への処分通告,記者会見の実施(12月16日)とともに,公表文書を全教職員に対し,メールで配信する旨の報告が行われた。

以 上